

商工会議所活用術

The Chamber of Commerce and Industry Utilization



産業技術・DX推進課
齊藤 健人



脱炭素への取り組み「測る」を支援します！

カーボンニュートラル (CN) ・脱炭素とは？

カーボンニュートラルとは、排出した二酸化炭素 (CO₂) を植林や技術で削減し、全体としてゼロにする考え方です。一方、脱炭素は、CO₂ の排出そのものを減らし、環境負荷を最小限にする取り組みを指します。

地球温暖化対策の一環として、再生可能エネルギーの活用や省エネ推進、炭素回収・貯留技術の導入に向けた研究などが進められています。これらの取り組みは、大企業だけでなく中小企業にも関係する重要な課題となっています。

CN・脱炭素のメリット

環境対策を進めることで、エネルギー費の削減や、経営の安定化につながります。環境規制が強化される中、早めの対応が将来的なコスト増を防ぐ鍵となります。取引先や顧客から「CO₂ 排出量の開示」を求められるケースも増えており、対応が取引条件になることもあります。また、環境意識の高い企業としての評価は、顧客や地域社会からの信頼につながり、事業の発展に寄与します。

CN・脱炭素への取り組み方

中小企業・小規模企業が脱炭素に「取り組む際は、「知る」「測る」「減らす」の3ステップを意識することが重要です。

知る…業界や地域の脱炭素の動向を把握し、その必要性を理解する。取引先からの要求や、行政の支援制度も確認しておく役立ちます。

測る…自社のCO₂ 排出量を把握する。電気やガスの使用量からCO₂ 排出量を算定し、排出が多い部分を特定する。無料の計算ツールなどを活用し、現状を可視化するとより特定しやすくなります。

減らす…自社のCO₂ 排出の傾向を踏まえ、削減に向けた計画を策定します。電気・ガス使用の見直し、省エネ設備の導入、LED照明への変更など、できることから始めるのがポイントです。

これらは、経費削減と環境対策の両面で効果が期待できます。

CO₂ 排出量を「測る」には？

福井商工会議所では、温室効果ガスの見える化を支援する「商工会議所CO₂ 見える化サポート (見えサポ)」を提供しています。民間企業

3社 (アスエネ株、e idash 株、株ゼロボード) と連携し、中小企業向けの見える化ツールを、初期費用の無料化や、初年度キャッシュバックなどの会員特典付きで導入支援しています。エネルギー使用量をもとにCO₂ 排出量を可視化することで、現状を把握し、削減目標を立てて、具体的な削減に取り組みやすくなります。



環境省「中小規模事業者向けの脱炭素経営導入ハンドブック～これから脱炭素化へ取り組む事業者の皆様へ～ Ver.1.0」から抜粋。



お問合せ先
福井商工会議所

産業技術・DX推進課

0776(33)8252